



10：30～11：30  
メインホール

＜特別講演 1＞  
介護報酬と2040年に向けた  
訪問リハビリテーション  
のあり方について

講師：堀亮介先生 厚生労働省老健局老人保健課課長補佐

令和6年の介護報酬改定では、訪問リハビリテーションについて、必要な方に早期に適切な訪問リハビリテーションを提供すること等が課題とされ、退院後早期のリハビリテーション実施に向けた連携の推進等について評価を行った。今回、介護報酬改定や地域リハビリテーションや災害リハビリテーションについて改めて振り返ると共に、今後の訪問リハビリテーションの課題等についてをお伝えする。

10 : 30 ~ 12 : 00  
第2会場

協会企画  
ノミネートセッション

座長：鈴木英樹先生

北海道医療大学

リハビリテーション科学部 理学療法学科

13 : 10~14 : 10  
メインホール

＜特別講演 2＞

訪問・通所リハビリテーション  
の課題と展望

講師：江澤 和彦 先生 日本医師会常任理事

- 江澤先生は地域づくりを目指して、「**尊厳の保障**」をライフワークとして掲げ多数の医療介護施設を開設
- 複数の病院、介護施設、サービス付き高齢者向け住宅、訪問・通所事業所等を運営
- 「**社会貢献**」を信条とし、社会保障制度・地域包括ケア・地域医療構想・医療保険・介護保険・診療介護報酬等に携われる

**在宅リハビリテーションにおける課題と展望について講演いただく**

**13 : 10～14 : 10**  
**第2会場**

＜教育講演 1＞

**日本遠隔運動療法協会による  
遠隔心臓リハビリテーションの  
社会実装と地域ケア**

**講師：長谷川 高志 先生**  
日本遠隔運動療法協会 理事

- 日本遠隔医療協会 特任上席研究員でもあり遠隔医療の第一人者
- 民間の企業研究所で
- ソフトウェア開発/遠隔放射線画像/ビジネス遠隔診療（現オンライン診療）システム等の研究に従事

**遠隔運動療法の広範な知見と活用可能性を講演いただく**

13 : 10～14 : 10  
第3会場

＜教育講演 4＞

維持期リハビリテーションで  
重要となる解剖学的情報について  
－筋骨格系を中心に－

講師：荒川 高光 先生

大阪歯科大学 解剖学講座 教授

リハビリテーション専門職に必要な「臨床につながる解剖学」  
として、**解剖学を専門にしている**理学療法士だからこそお話し  
ただける貴重な講演。

リハビリテーションに関する解剖学的視点から、今回は特に  
筋・骨格系の解剖学の再考・再学習、解剖学的理解に基づいた臨  
床症状の病態把握を中心に講演いただきます。

14 : 20-15 : 50  
メインホール

<シンポジウム 1>  
訪問リハビリテーションの  
制度の現状と課題  
～より良い制度を目指して～

座長：**関本 充史 先生** 日本作業療法士協会 常務理事

理学療法士の立場から：**佐伯 孝一先生** 亀田訪問看護センター・訪問リハビリ

作業療法士の立場から：**高島 千敬先生** 広島都市学園大学 作業療法学専攻 准教授

言語聴覚士の立場から：**黒羽 真美先生** 日本言語聴覚士協会 副会長

日本訪問リハ協会の立場から：**三浦 祐司先生** 制度対策調査研究部 部長

訪問リハビリテーションにおける制度として介護報酬、診療報酬、訪問リハビリテーション事業所、訪問看護ステーションなどの区分けだけでは解決しない制度の課題も含めた議論を行い、**訪問リハにとってより良い制度とは何か**を考えるシンポジウムを行います。

14 : 20～15 : 20  
第2会場

＜教育講演 1＞  
脳卒中後の  
自動車運転再開支援

講師：伊部洋子先生

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション部 医師

- 脳卒中後の移動手段として、運転が必須の方も少なくない
- 運転はQOL向上にとっても重要な課題
- 運転再開のためには四肢体幹の機能/高次脳機能/視覚・視野など多くの課題がある

運転再開支援のために我々が行うべき事をご講演いただく

15 : 30～16 : 30  
第2会場

＜協会企画＞ 学術部セミナー  
研究支援1：日々の臨床を研究に  
～質的研究で1事例を深く理解する～

講師: **村上 正和 先生**

日本医療大学保健医療学部作業療法学専攻

本講演では、訪問リハビリテーションの臨床現場で見られる一つ一つの事例を深く掘り下げ、その現象や経過を理解するための質的研究の視点と方法をご紹介します。

実際の事例を交えながら、研究所学者にも分かりやすく解説し、実践で活用できる内容をお届けします。**日々の臨床を新たな視点で捉える機会**として、ぜひご参加ください。

15 : 30～16 : 30  
第2会場

<教育講演 3>  
リハ職が**介護支援専門員**になり  
実感した退院時連携の重要性

講師：**藤本 健 先生**

介護サービスセンターはあとふる  
全国デイ・ケア協会研修認定委員会委員長



- 藤本先生は通所リハビリテーションで理学療法士として長年責任者をされていた。2年前より介護支援専門員として活躍中
- 介護支援専門員として経験した退院時連携をもとに、訪問リハにとっての**医療介護連携の重要性**や今年度新設された退院時指導共同加算等について、事例も交えながらご講演いただく

16 : 00 ~ 17 : 00  
メインホール

＜能登半島災害応援セミナー＞  
災害支援と**生活を支える**  
訪問リハビリテーション

講師：**北谷 正浩 先生**

石川県理学療法士協会会長（志賀町地域包括支援センター）

- 北谷先生は令和6年能登半島地震の際に石川JRATで中心となって活躍された方
- JRAT活動の貴重な経験をお話をいただくとともに、災害時における訪問リハの役割についても講演いただく
- 本大会は**能登半島災害応援セミナー**です。今回の大会の収益は**能登半島へ寄付**とさせていただきます

16 : 40 ~ 18 : 10  
第2会場

＜協会企画＞  
大会企画部・広報戦略プロジェクト  
協同企画  
『座談会』

司会：竹内 久美 先生・村瀬 文康 先生

『connect people～繋ぐ・結ぶ～3rd』

認定訪問療法士の未（已@）来を語ろう!!

認定訪問療法士や認定訪問療法士を目指している方々と一緒におこなう座談会です。協会では認定訪問療法士がさらに活躍できる機会を作るために広報戦略プロジェクトを立ち上げました。座談会の中で出た**アイデア**を集め、プロジェクトで実現していきたいと思います。**お手伝いして下さる方も併せて募集**していく予定です。

\*座談会専用の参加申し込みを行ってください。当日参加も可能です。

17 : 10 ~ 18 : 10  
第2会場

<イブニングセミナー2> 研究支援2  
今日から役立つ！

訪問リハにおける量的研究のポイント  
～基本をおさえて臨床に役立つ研究に～



講師：山上 徹也 先生

群馬大学大学院保健学研究科リハビリテーション学講座 教授

今回の大会では研究支援にも📌を入れています

「訪問リハは有効か」という臨床の疑問 (臨床的質問; CQ) で量的研究をうまく実施できると思いますか？ 答えはノーです。訪問リハの対象者は退院直後、生活安定期、終末期など様々で、効果もADL・QOL向上、介護負担軽減など様々です。そこでCQを研究に耐えうる問い (研究的質問; RQ) へ変えると、量的に測定可能となります。当日はCQを効果的なRQに変える方法をお伝えします。

お金は切実  
大切な将来のため  
と一緒に金のこと  
を考えよう

17：10～18：10   メインホール

<イブニングセミナー1：訪問リハ職とお金の話>  
心の底から得たい未来を創造する「**ライフプランニング**」  
とリハ職のための「**資産形成**」

- リハ職は比較的若い人が多く、人生設計に難渋している人も多い
- リハ職はやりがいのある仕事である
- 明るい未来のためにどう

**人生設計を組み立てれば 良いかをご講演**

**講師：細川 智也 先生**

理学療法士   ソニー生命保険株式会社

